

脳卒中患者に対する早期リハビリテーション

急性期リハビリテーションの効果

- 廃用症候群を予防することができる
- 機能転帰が良好になる
- 入院期間の短縮につながる
- 脳卒中ユニットでの関わりが推奨



2021年度、医師・看護師など多職種と共同して、**早期離床プロトコル**を作成した。



脳卒中早期離床プロトコル

脳梗塞・脳出血

重症度

軽症

中～重症

STEP0～3

STEP0

STEP1 1日目

STEP2

STEP3 2日目

- 医師から指示があるもの
- 入院時の重症度を考慮して**安全**に介入
- **5山病棟(脳卒中ユニット)**と連携して実施

STEP内容

STEP0: 評価・床上リハ

STEP1: 段階的なG-up

STEP2: 端座位

STEP3: 立位or車いす移乗

実際の臨床場面



STEP1: G-up座位



STEP2: 端座位



STEP3: 車いす座位

多職種連携

リハビリ科内での連携



リハビリの進行状況や、
離床の阻害因子を検討

5山病棟(脳卒中ユニット)との連携



リハビリの介入時間や、
薬剤調整を実施し、
円滑なリハビリ介入ができるよう調整

まとめ

- 脳梗塞・脳出血患者様を対象とした早期離床プロトコルを作成
- 安全で効果的な早期離床が行えるよう、多職種で協議している